

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和2年12月22日（火）

### 2 確認箇所

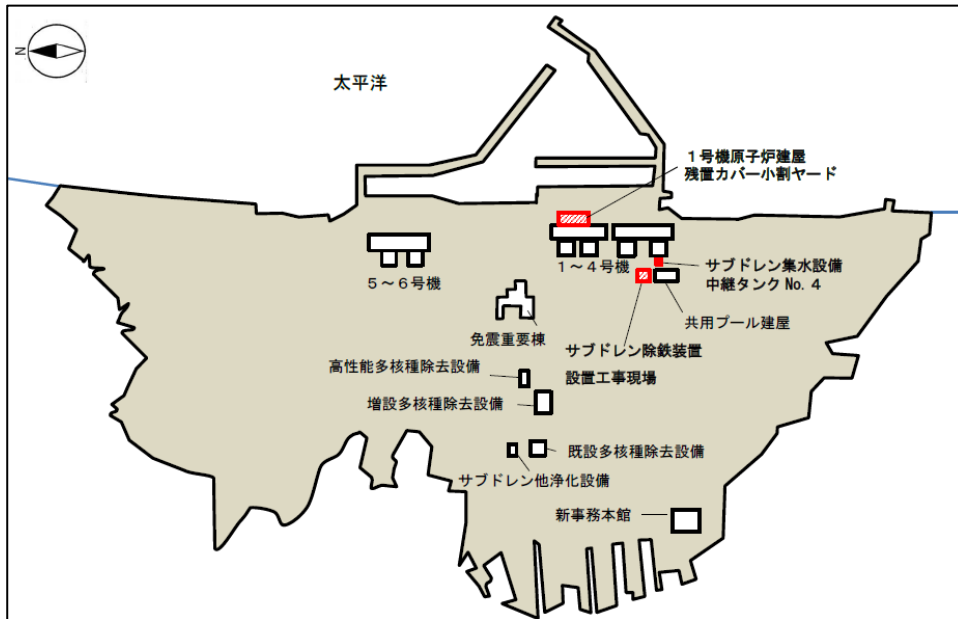
- ・サブドレン集水設備No. 4 中継タンク（共用プール建屋東側）
- ・サブドレン除鉄装置工事箇所（共用プール建屋北側）
- ・1号機原子炉建屋残置カバー小割ヤード（1、2号機タービン建屋東側）

### 3 確認項目

- （1）サブドレン集水設備中継タンクNo. 4内の油分回収作業の状況
- （2）サブドレン除鉄装置の設置状況
- （3）1号機原子炉建屋残置カバー小割作業の状況

### 4 確認結果の概要

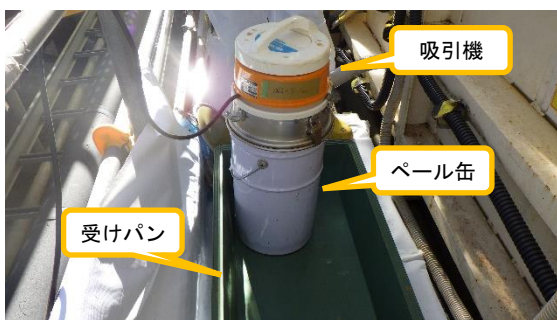
- （1）サブドレン集水設備中継タンクNo. 4内の油分回収作業の状況について  
前回（12月15日）、サブドレン集水設備中継タンク No. 4（以下、「中継タンク」という。）で検出された油分回収作業の準備状況を確認したことから、本日は中継タンク内の油分の回収作業の状況を確認した。  
（図1）
  - ・現場確認時、中継タンクハウス内では、油分を回収するための吸引機が設置され、中継タンクの上部蓋が開放されており、本日分の回収作業に向けて準備が実施されていた。（写真1）
  - ・中継タンク内を確認したところ、水面に若干の油膜が見られた。（写真2）
  - ・前日までに回収した油分を含んだウエスは、静電気防止袋に入れられた状態で、ドラム缶内で保管されていた。（写真3）
  - ・東京電力によると、油分回収作業は1月中旬頃まで実施する予定であり、回収した油分は発電所構内の危険物保管庫にてドラム缶にて保管する予定とのことであった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)  
中継タンクハウス外観



(写真1-2)  
吸引機の設置状況  
吸引機の下には油分を含んだ中継タンクの残水を受けるためのペール缶が設置され、さらに漏えい拡大防止のための受けパンが設置されていた。



(写真1-3)  
中継タンクの上部蓋開放の状況



(写真2)  
中継タンク内の状況  
水面に若干の細かい油膜あり。また、鉄サビも浮遊していた。



(写真3-1)  
ドラム缶外観



(写真3-2)  
ドラム缶内の状況  
青色の袋は静電気防止袋



(写真3-3)  
静電気防止袋内の状況  
ウエスから油分が染み出している

(2) サブドレン除鉄装置の設置状況について

共用プール建屋北側等で行われているサブドレン除鉄装置設置工事の進捗状況を確認した。(図1) (前回確認：令和2年11月12日)

- ・現場確認時は、前回未実施であったサブドレン除鉄装置の屋根設置工事が実施されていた。(写真4)
- ・また、サブドレン除鉄装置南東側では配管に保温材及びカバーが新たに取付けられており、コーキング作業が実施されていた。(写真5)



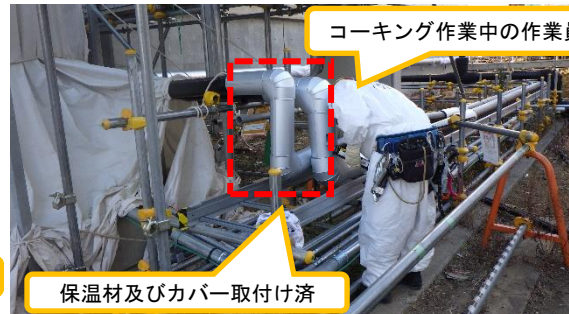
(写真4-1)  
サブドレン除鉄装置設置箇所外観  
(南西側から撮影)  
前回(11月12日)撮影



(写真4-2)  
同左  
今回撮影



(写真5-1)  
サブドレン所鉄装置南東側の配管敷  
設状況(南西側から撮影)  
前回(11月12日)撮影



(写真5-2)  
同左  
今回撮影

(3) 1号機原子炉建屋残置カバー小割作業の状況について

前回(12月11日)、1号機原子炉建屋残置カバーの小割ヤードの状況を確認したため、本日は当該ヤードでの小割作業の状況を確認した。

(図1)

- ・現場確認時は、ヤード周辺に遮へい板が設置され、重機2台により小割作業が実施されていた。(写真6)
- ・東京電力によると、小割作業は本日から開始したとのことであった。





(写真6)  
小割作業の状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認  
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。